

中央大学文学部・八王子市図書館 共同研究報告会(令和6・7年度分)記録

1 中央大学と八王子市の共同研究

平成 29 年（2017 年）4 月に八王子市は、中央大学と「包括連携協定」を締結しました。

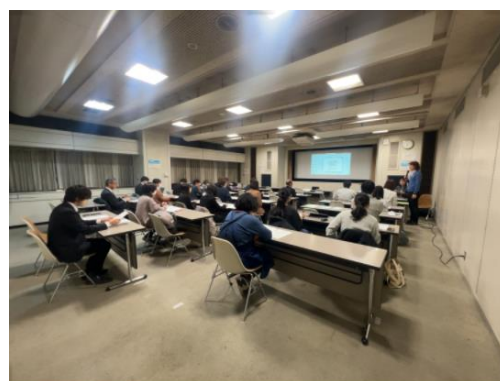
この協定に基づき、中央大学文学部社会情報学専攻の研究チーム（代表者：教授・小山憲司）と八王子市図書館は、平成 29 年度（2017 年度）より、共同研究を実施しており、令和 3 年度からは共同研究協定書の一部改定し、八王子市における図書館整備及び読書環境等に関する調査・データ分析・検証作業等を通じ、その向上を図ることを目的に、「八王子市における図書館整備及び読書環境等の向上に関する研究」と題した共同研究を実施しています。

2 報告会の開催

日時……令和 8 年 2 月 4 日（水）17 時 30 分～

場所……八王子市中央図書館

参加者…25 名



3 発表内容

① 「八王子市中央図書館 10 代向けフリースペースの企画と実践」

中央大学文学部 小山 憲司 教授
八王子市生涯学習スポーツ部図書館課 村石 英里 主査

② 「図書館閲覧量調査について」

中央大学国際情報学部 飯尾 淳 教授 ゼミナール所属学生

4 寄せられた意見(一部)

【①について】

・「静かに勉強できる場所が欲しい」という意見と、「みんなで話せる場所が欲しい」という意見の両方があり、その両立の難しさを改めて実感しました。

・フリースペースのお話はとても興味深かった。いわゆる図書館好き、本好きではない子たちの思いも知りたいと思う。

【②について】

・学生さんの発表を聴けたのがとても興味深かったです。学生の「自分はこう思う」という意見に触れて大変刺激になりました。

・閲覧率など、なかなか取れないデータを取得して分析しているのは図書館情報学の分野でも意義深いと感じました。

【報告会について】

・研究の成果をぜひ今後の図書館運営に生かしていただきたいと思います。実際の現場に活用できる研究をして、図書館と利用者が発展していけることを願っています。